

令和2年度事業報告書

特定非営利活動法人 フードバンク横浜

1 事業の成果

(1) 活動成果概要

- ①フードバンク横浜の認知度が上がり企業・団体・個人から沢山のご寄付を頂きました。
寄付品目も、食品のみでなく、日用雑貨品、野菜、冷凍食品等、多種多彩でした。
ご寄付頂いた企業・団体様（敬称略）
横浜冷凍、横浜FC、神奈川銀行、IKEA 港北店、横浜スタジアム、横浜市内小学校多数、
日本ケンタッキー・フライド・チキン、麒麟ビール(株)取手工場、エンゼルフーズ食品、
ペニーダイナー、横浜リテラ、東急ハンズ横浜店、シーバイエス、カゴメ、エアフランス、
テラビッツ、マクニカ、パタゴニア、サヴァンシアジャポン、オッティ貿易、サティ、
サンリツ、アイトー、荏原製作所、三谷産業、三波工業、NTT 東日本
頂いた個人の方
個人情報のため明記しませんが延べ 226 人になります。
- ②ひとり親支援会場は、今期4会場（後期に金沢区会場は、港南区会場へ移行）である。
多くのひとり親及び生活困窮者に食品・衣料品・日用品等の支援を行った。
- ③地元企業団体・飲食店と繋がり、定期的に各種支援を受ける事が出来た。
・平成30年3月より、ご支援を頂いている横浜中華街の「山東」様からは、
引き続きホームレス支援のため、温かいスープとお弁当の提供を受けています。
- ④奨学米制度を継続し、一人親世帯で就学生が居る家庭に毎月5^{kg}のお米を提供中。
- ⑤フードドライブは、既存の2会場の他、来期より新たな連携のもとでホテルエディト
横濱様の特設イベント会場で実施して行く事で決定している。
・そごう西武株式会社の協力のもと、継続的なイベントを実施している。
・戸塚モディ様の協力のもと、継続的なイベントを実施している。
来期より、戸塚モディ内でSDGsをテーマにチームを組んで地元企業を中心に
より組織的なフードドライブの実施が出来るよう進めている。
・日本ケンタッキー・フライド・チキン（株）様の協力のもと、今期より開始されたKFC
横浜オフィス内フードドライブ活動を継続的なイベントとして実施する事に決定している。
・来期より、無印良品様、ハイセンスジャパン株式会社様の自主的なフードドライブ活動が
始まる為、協業的活動の一環として自立的活動が出来るよう進めている。
- ⑥ホームレス支援として、関内駅北口地下通路に居るホームレスへ毎月1回実施し、
前述「山東」様からのお弁当の提供とともに、企業・団体・個人などから頂いた
食品・日用品及び毛布や寝袋を支援した。

(2) マスコミ等外部メディア

統括的な報告として、世界的コロナ禍の中で、NHK等々種々のメディアからの取材が
日常化して、TV的にもフードバンクの単語が日々溢れている状況が続いている。
当団体も地域情報への発信媒体として、タウンニュース社、神奈川新聞社や地区報社との
連携を元に、地域住民への社会貢献の参加等の呼びかけを心がけている。

2. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

①フードバンク事業に関する事業

ア ひとり親支援事業

- ・内 容 ひとり親支援を目的に、毎月「ひとり親支援イベント」を開催し、そこに来られる一人親家族へ食品や日用雑貨品などを提供する。
- ・日時・場所 中区「なかふく」、神奈川地区センター内、東戸塚地区センター内
金沢区武松商事内（今期末より港南区社協内）※下記 経緯参照
- ・ボランティア人員 延べ 521人参加
- ・支援世帯数 毎月4か所にて実施にて
延べ 967世帯

※経緯：金沢区から港南区へ移行

金沢区「ひとり親支援イベント」：

3月28日（土）よりコロナ禍の為、自粛

7月25日（土）から再開

8月22日（土）：鳥浜町エコルファクトリー内での

「ひとり親支援」イベント終了

- 今後当団体の社会貢献活動範囲をより拡充する為に、港南区社協との連携を構築する必要が有る為、移行の方針となる。

移行の為、暫定的に港南区民文化センター「ひまわりの郷」を利用

9月20日（日）：横浜市港南区民文化センター ひまわりの郷 利用開始

10月：横浜市港南区民文化センター ひまわりの郷

11月：横浜市港南区民文化センター ひまわりの郷 利用終了

- 12月より、港南区社協様のご協力を頂き、そよかぜの家を拠点として、様々な港南区における地域課題と一緒に取り組む事になる。

まずは、12月23日（水）のフードパントリー（お渡し会）の実施を皮切りに、

同月26日の第一回ひとり親支援を開催し、今までの当団体の取組みを更に大きな支援の輪へと広げて行く大きな一歩になって行きます。

12月：横浜市港南区社会福祉協議会 3階（そよかぜの家 3階）利用開始

以降 継続的に利用

イ ホームレス支援事業者

- ・内 容 街友さん(ホームレス)支援として、食品・寝袋・毛布、衣服などを提供
- ・日 時 毎月1回
- ・場 所 横浜市関内駅北口地下通路
- ・ボランティア人員 延べ 112人参加
- ・支援者数 毎月4か所にて実施にて
延べ 555人

ウ 奨学米事業

- ・内 容 一人親家庭のこども（小中高生）支援を目的に、5^{kg}のお米を毎月奨学金の代わりに提供。期間は、年度単位で行い、当然返済義務なし。
- ・日 時 毎月4回
- ・場 所 ひとり親支援会場
- ・精米作業ボランティア人数 71人

- ・支援者数 毎月4か所にて実施にて
延べ(約) 1,000人

エ ホームレス支援団体への支援

- ・内容 ホームレス支援を目的に、随時行われるホームレス支援活動を精力的に行う団体への支援活動
- ・日時・場所 随時横浜市内のホームレスが点在する箇所や地元を越えて代々木公園等のホームレス居住場所
- ・支援者数
 - 牧野G 延べ 2160人
 - 代々木公園支援者数 延べ 2760人

② フードドライブに関する事業

ア フードドライブ事業

- ・内容 下記会場でフードドライブを定期的を実施
- ・日時 定期開催(各店舗月一回)
- ・場所 横浜西武東戸塚店及び戸塚モディ店
- ・ボランティア人員 延べ 98人参加
- ・来店者数 毎月2か所にて実施にて
延べ 521人
- ・寄附品数 延べ 3690品目

③ こども教育に関する事業

ア こどもみらい塾事業

- ・内容 貧困の連鎖を防ぐことと教育格差に対応するため、こどもみらい塾をコロナ禍の中で継続。
- ・日時 毎週二回(火曜日・金曜日)で実施
- ・場所 東戸塚地区センター内